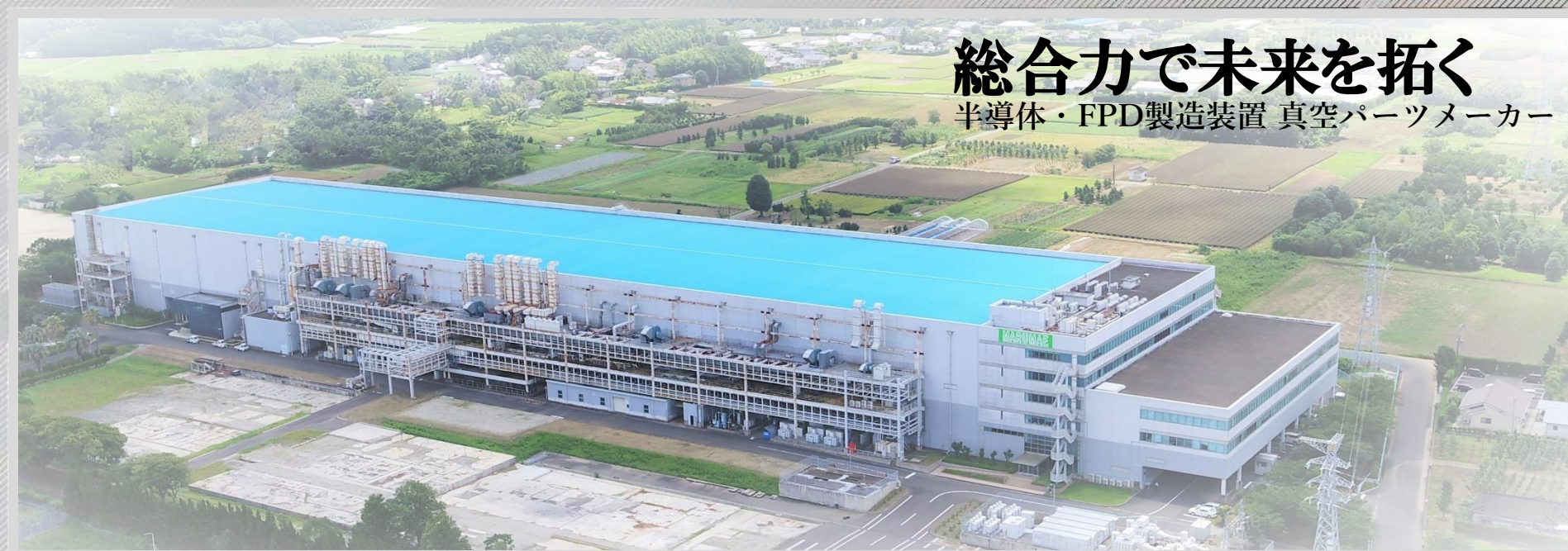


東証(TSE):6264

株式会社マルマエ
2021年8月期 第2四半期決算 補足資料

2021年3月30日

総合力で未来を拓く
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



1. 決算概要

PL分析

PL

	2020年8月期 第2四半期累計期間		2021年8月期 第2四半期累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
受注高	2,032	—	2,526	—	24.3
受注残高	803	—	1,077	—	34.0
売上高	2,018	100.0	2,299	100.0	13.9
売上原価	1,412	70.0	1,588	69.1	12.4
売上総利益	605	30.0	710	30.9	17.3
販売管理費	240	11.9	286	12.5	19.1
営業利益	364	18.1	424	18.4	16.2
経常利益	341	16.9	422	18.4	23.7
特別損益	—	—	0	0.0	—
当期純利益	237	11.8	294	12.8	23.9
EPS (円)	18.22	—	23.01	—	26.3

Point

① 受注状況

- 半導体分野：1,988百万円
(対前年同期：29.6%増)
- FPD分野：394百万円
(対前年同期：18.3%減)
- その他分野：143百万円
(対前年同期：891.1%増)

② 売上高

- 対前年同期13.9%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

③ 売上原価・売上総利益

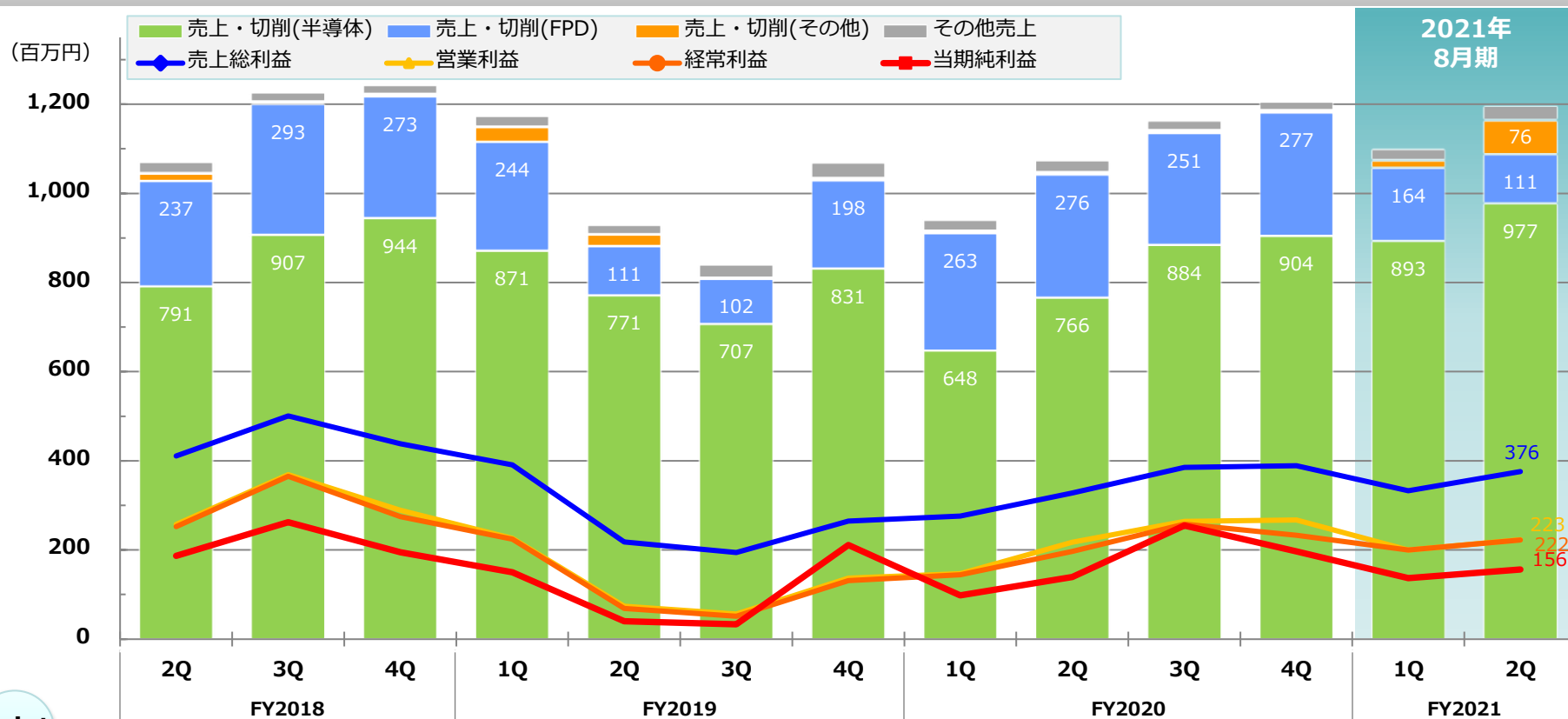
- 材料費：37百万円減少
(対前年同期：10.8%減)
- 外注加工費：45百万円増加
(対前年同期：19.9%増)
- 労務費：63百万円増加
(対前年同期：14.7%増)
- 減価償却費：41百万円増加
(対前年同期：17.6%増)

④ 営業利益

- 販管人件費：27百万円増加
- 支払報酬：21百万円増加 (計画外)

1. 決算概要

四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体分野過去最高でFPD分野は停滞

- 半導体分野：1,870百万円（対前年同期：32.2%増）
 - ・半導体分野は1Q後半から回復加速し過去最高水準
- FPD分野：275百万円（対前年同期：48.9%減）
 - ・市場停滞に伴い売上減少

■その他分野：94百万円（対前年同期：759.6%増）

- ・スマホ筐体向けと太陽電池製造装置向けで大幅増加

②損益面は材料費や外注費の少ない受注が増え改善

- ・当期純利益294百万円（対前年同期：23.9%増）

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1. 決算概要

B/S分析

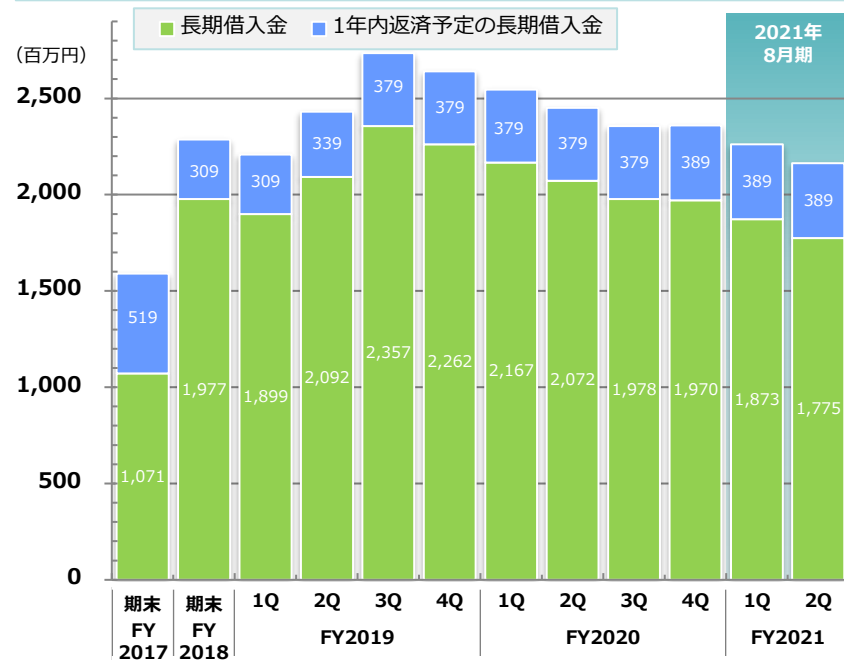
B/S

	2020年8月期 会計年度末 (百万円)	2021年8月期 第2四半期末 (百万円)
流動資産	4,369	4,088
現金及び預金	2,540	2,161
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	1,376	1,469
たな卸資産	438	430
固定資産	4,524	4,600
建物・土地	2,359	2,331
機械及び装置	1,775	1,866
流動負債	1,183	1,031
有利子負債(短期)※	389	389
固定負債	2,004	1,811
長期借入金	1,970	1,775
負債合計	3,188	2,842
純資産合計	5,706	5,847
総資産	8,894	8,689

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

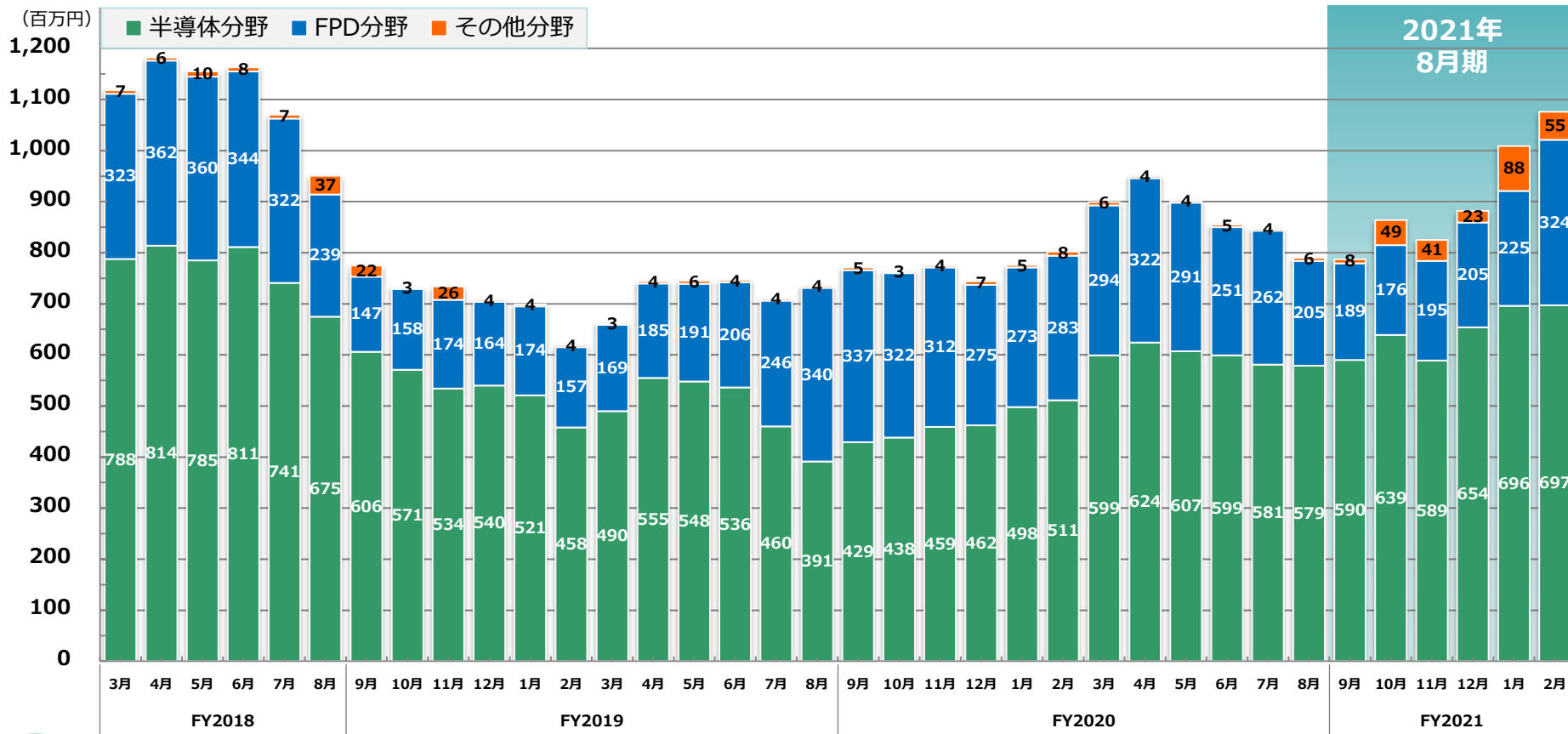
Point

- ① **資産：8,689百万円(前期末比:204百万円減少)**
 - 有形固定資産：89百万円増加
 - 売上債権：93百万円増加
 - 現金及び預金：378百万円減少
- ② **負債：2,842百万円(前期末比:345百万円減少)**
 - 長期借入金：194百万円減少
 - 未払法人税等：104百万円減少
- ③ **純資産：5,847百万円(前期末比:140百万円増加)**
 - 配当金の支払い：153百万円
 - 四半期純利益の計上：294百万円
 - 自己資本比率：64.2%→67.3%



2. 事業環境

月次受注残高の推移



- Point**
- 半導体分野：メモリ向けの急回復で受注押上げも、生産力向上で受注残の増加は過去ピーク比低目
 - FPD分野：G6 OLED（有機EL）向け堅調で新規顧客向けなどシェア拡大効果出始める
 - その他分野：スマホ筐体向けに加え太陽電池製造装置向けで受注残拡大

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム（LT）があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。

2. 事業環境

今後の販売分野別の環境と方針等

半導体分野

- ◆ ロジックファウンダリ※に加えメモリ各社も投資拡大
- ◆ ロジック投資拡大もあり2021年の市場見通しは過去最高予想
- ◆ 試作能力強化でシェア拡大し、設備投資は積極的に対応

FPD分野

- ◆ 市場環境はスマホ向けOLEDに明るさ
- ◆ 市場急回復に加えシェア拡大進む（新工程獲得＋同業他社撤退）
- ◆ EBWと輸送を活かし前後工程までワンストップ受注の強化

その他分野

- ◆ 太陽電池等、新エネルギー向け引き合い続く
- ◆ FPDと半導体分野の空き余力を埋める受注目指す

※ファウンダリとは、顧客からの設計データをもとに半導体を受託製造するメーカーのことです

3. 2021年8月期の業績予想

当期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

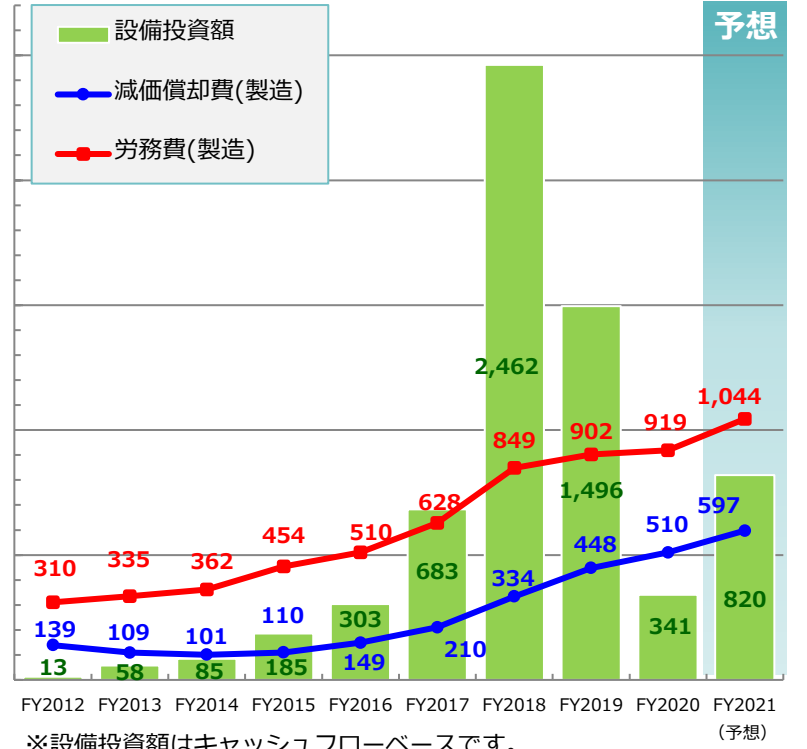
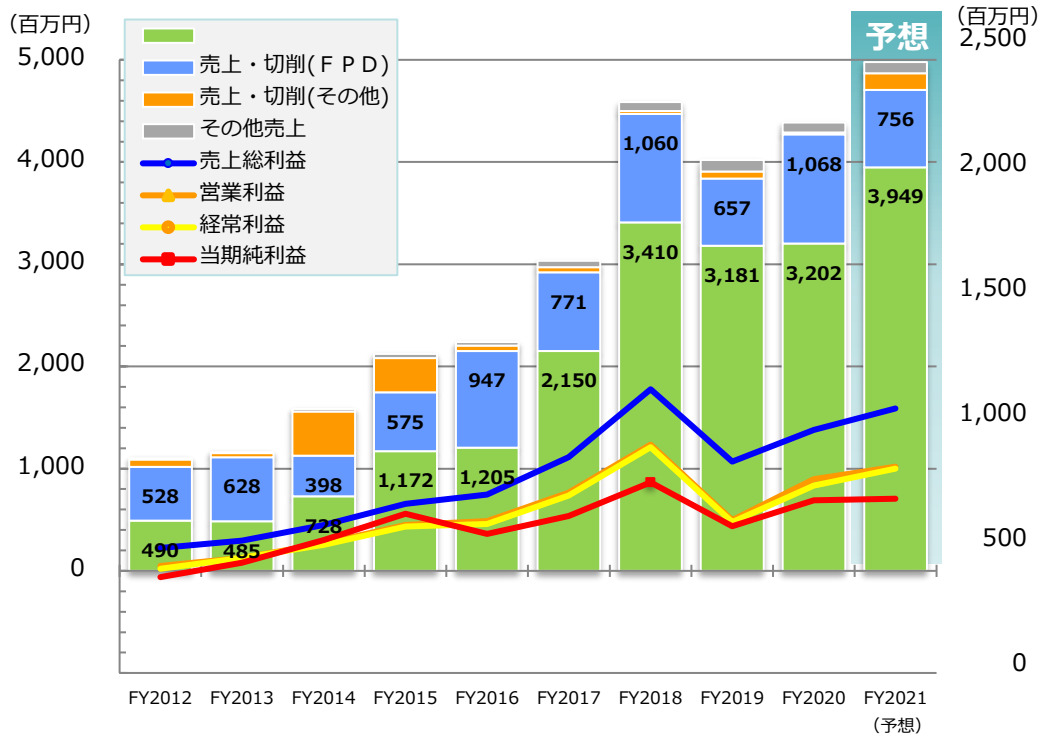
業績
予想

2021年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
通期	4,980	1,020	1,000	705	55.07

上期に続き通期売上高および利益も上方修正。(2021年3月30日開示)
さらに市場環境の改善が継続中。

Point

- ✓ 市場環境好調で通期見通し上方修正
- ✓ 設備投資は、来期に向けて積極姿勢
- ✓ M&Aに関連した企業調査費が予定より先行して発生(未成就に終わったため)し、上期損益は直前公表の見通しから若干下振れ
- ✓ 配当予想も期末12円、通期で22円に修正



4. 中期事業計画「Innovation2022」

数値目標への取り組み 計画期間～2022年8月期末

中期事業計画 Innovation2022

数値目標

売上高**70億円** 営業益**20億円**

半導体分野

分野売上目標額：52億円
新顧客2社：認証獲得進め拡大中
既存顧客：消耗品注力でシェア拡大

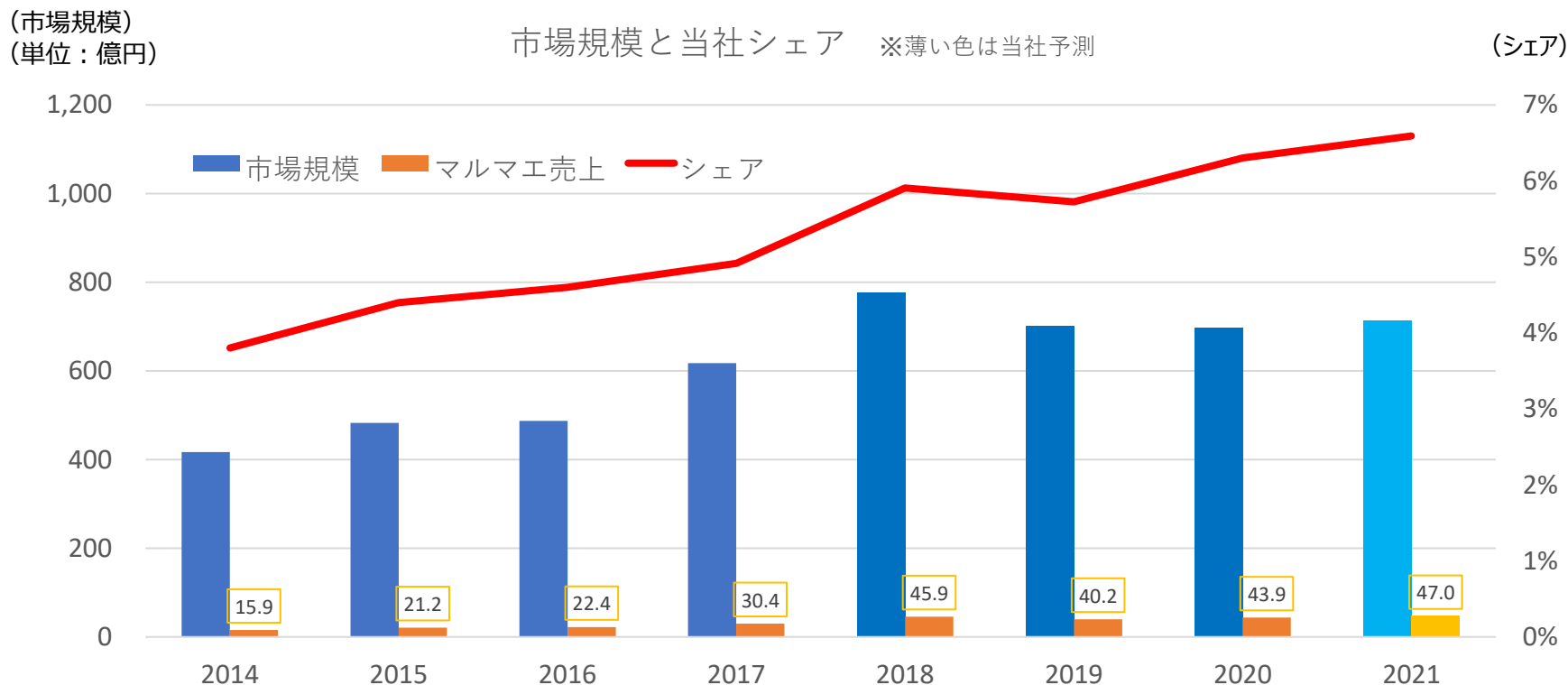
F P D分野

分野売上目標額：16億円
電子ビーム溶接活用し受注拡大
同業他社撤退によるシェア拡大

※その他分野で2億円の売上高を見込んでおります

4. 中期事業計画「Innovation2022」

当社の属する市場とシェア推移



成長性

- ✓ 当社の属する市場は、半導体もFPDも共に好調であった2018年に直近の最高値を記録しました。その後は半導体分野が一旦落ち込んだ後に足元では回復傾向ですが、FPD分野の落ち込みが大きく市場全体としては伸び悩んでおります。
- ✓ 当社は同業他社が停滞する中でも新規顧客の獲得や量産に向けた試作品受注の注力によりシェア拡大を続けております。

- ・本項の市場規模データは、当社と類似した半導体とFPD製造装置の真空パーツを生産する企業で、当社が認識する一部（当社含30社）の企業について、各暦年に属する決算期末ごとの売上高を調査機関の情報を基に集計したものです。
- ・2021年のデータの一部は決算月や各社の受注内容から当社が推測した予測値です。

私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

Company Profile

企業情報

参考資料（現事業の始まり）

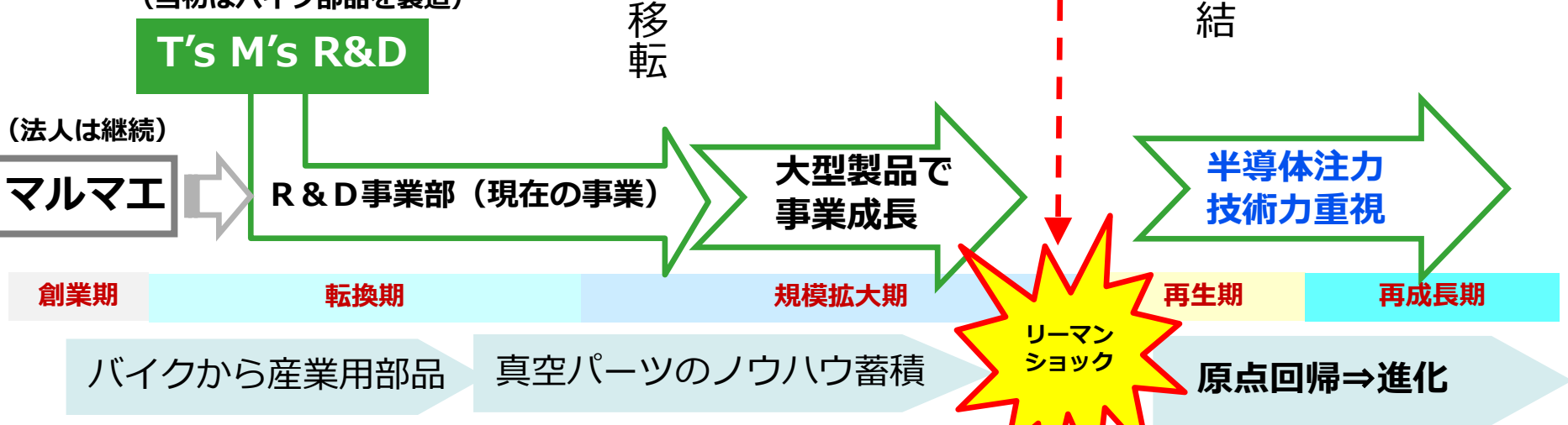
現在の事業はレース活動から始まりました



参考資料（沿革と事業変遷）

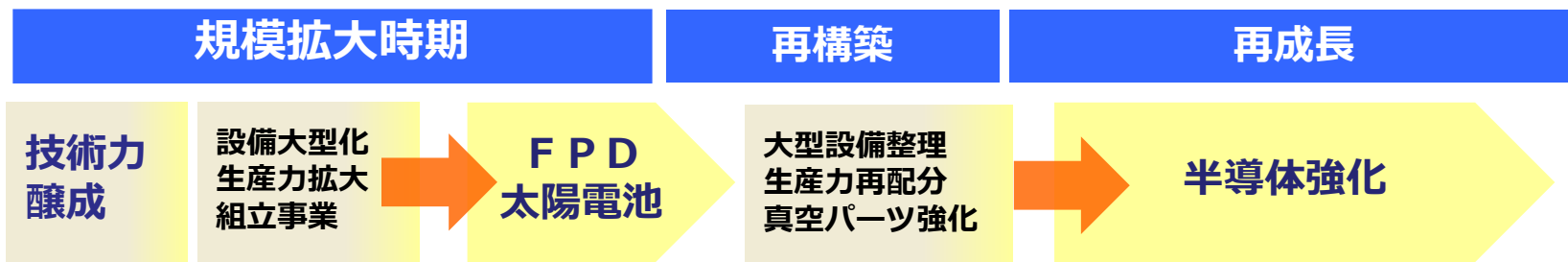
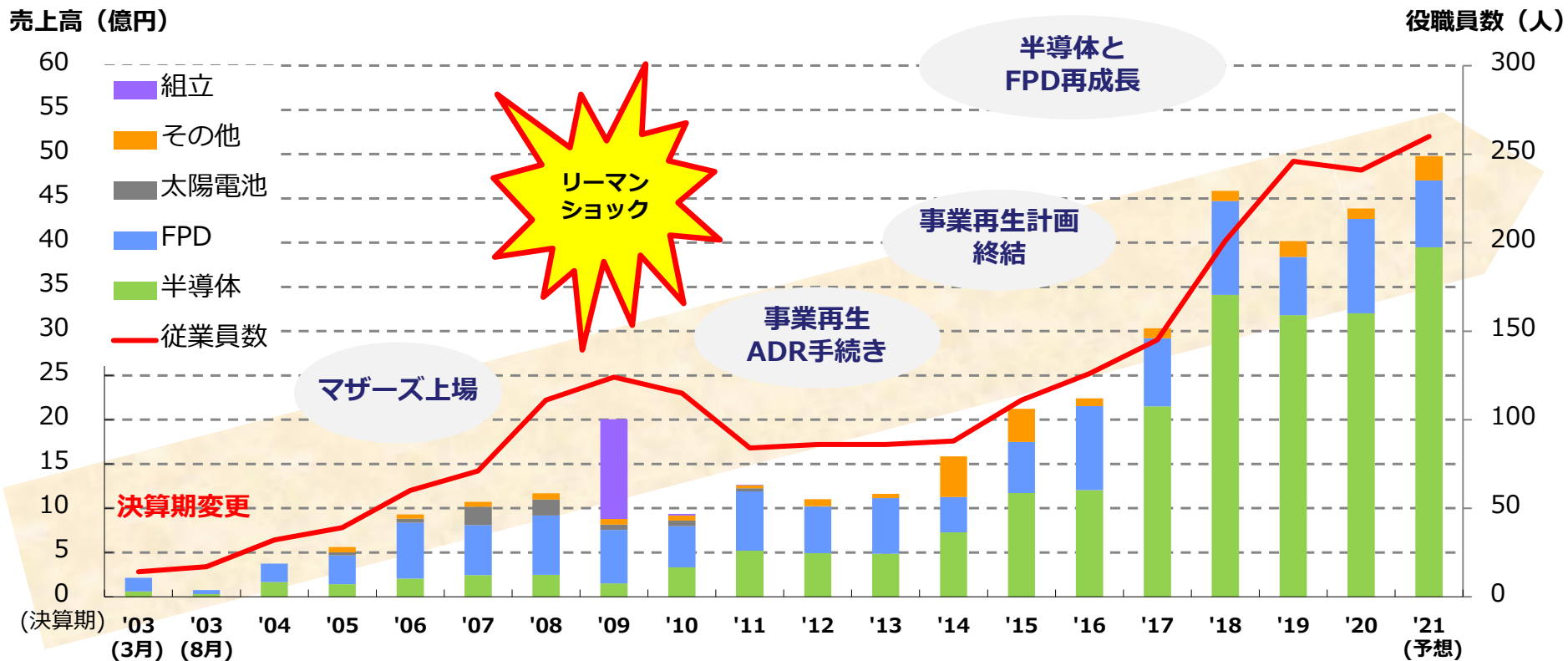
'65 '88 '97 '00 '01 '03 '05 '06 '08 '09 '11 '15 '17 '18 '19

'65 マルマエ工業個人創業
 '88 有限会社設立
 '97 T's M's R&Dの合併
 バイク部品製造
 (当初はバイク部品を製造)
 '00 株式会社へ改組
 半導体分野へ参入
 '01
 '03 大型加工機導入
 本社を高尾野工業団地へ移転
 FPD分野参入
 '05
 '06 グリーンシート銘柄指定
 東証マザーズに上場
 '08 熊本事業所が稼働開始
 関東事業所が稼働開始
 '09
 '11 熊本事業所の閉鎖
 事業再生ADR手続成立
 '15
 '17 事業再生ADR手続の終結
 出水事業所取得
 '18 東証二部に上場
 '19 東証一部指定
 本社を出水事業所へ移転



参考資料（沿革と事業変遷）

事業成長と成長ドライバー



参考資料（現在の事業内容）

当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

主要工程

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
スパッタ
枚葉洗浄
アッシング
ウエハーボンディング
イオン注入
アニール

主要製品

真空チャンバー
シャワーヘッド
排気板
静電チャック
ヒーター類
上部電極
ターゲット
搬送系パーツ類
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）
設立	1988年10月
資本金	12億4,115万円（2021年2月28日現在）
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役（監査等委員） 兒島 吉二 取締役 安藤 博音 取締役（監査等委員） 外西 啓治 取締役 門田 晶子 取締役（監査等委員） 桃木野 聡 取締役（監査等委員） 山本 隆章 取締役（監査等委員） 宮川 博次
従業員数	252名 うち 臨時雇用者等 110名（2021年2月28日現在） 他 派遣社員26名
所在地	出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・精密機械部品の設計および製作 ・産業および医療機械器具の設計、製造、販売 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は究極を目指し ・競争と協調を尊び ・技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>

発行済株式総数	13,053,000株	
単元株式数	100株	
株主総数	8,419名	
大株主 (普通株式)	前田 俊一	4,818,700株
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	558,900株
	前田 美佐子	504,000株
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	181,600株
	前田 良子	180,000株
	川本 忠男	175,800株
	五十嵐 光栄	168,000株
	SMBC日興証券株式会社	140,800株
	マルマエ共栄会	135,200株
	株式会社日本カストディ銀行（信託口5）	128,400株
（注）自己株式が250,196株あります。 （2021年2月28日現在）		